10MHz	搬送周波数±7.5MHz	5.0MHz
	搬送周波数±10MHz	9.0MHz
	搬送周波数±12.5MHz	5.0MHz
	搬送周波数±20MHz	9.0MHz
15MHz	搬送周波数±10MHz	5.0MHz
	搬送周波数±15MHz	5.0MHz及び13.5MHz
	搬送周波数±30MHz	13.5MHz
20MHz	搬送周波数±12.5MHz	5.0MHz
	搬送周波数±17.5MHz	
	搬送周波数±20MHz	18.0MHz
	搬送周波数±40MHz	

ウ　分解能帯域幅　　30kHz
エ　ビデオ帯域幅　　100kHz
オ　Y軸スケール　　10dB／Div
カ　入力レベル　　最大のダイナミックレンジとなる値
キ　データ点数　　400点以上
ク　掃引モード　　連続掃引
ケ　検波モード　　ポジティブピーク
コ　表示モード　　マックスホールド
サ　掃引回数　　スペクトラムの変動が無くなる程度の回数

⑵　隣接チャネル領域における１MHz帯域幅当たりの送信相互変調積探索時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア　掃引周波数幅　　チャネル間隔により次表のとおりとする。

チャネル間隔	掃　引　周　波　数　幅
５MHz	搬送周波数±（2.75MHzから7.25MHzまで）
	搬送周波数±（7.75MHzから12.25MHzまで）
10MHz	搬送周波数±（5.50MHzから14.50MHzまで）
	搬送周波数±（15.50MHzから24.50MHzまで）
15MHz	搬送周波数±（8.08MHzから21.75MHzまで）
	搬送周波数±（23.25MHzから36.75MHzまで）
20MHz	搬送周波数±（10.58MHzから29.00MHzまで）
	搬送周波数±（31.00MHzから49.00MHzまで）

イ　分解能帯域幅　　30kHz
ウ　ビデオ帯域幅　　100kHz
エ　掃引時間　　測定精度が保証される最小時間